



カルミア

常緑／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

5月から6月頃になると花が枝先を埋めつくす北アメリカ原産の常緑低木。園芸品種が多く、白色のスティル・ウッド、桃色のピンク・ポール、蕾は赤く咲くと内側が桃色のオスボ・レッドなどに人気がある。昆虫が訪花すると、雄しべが跳ね出して花粉を付ける仕掛けがある。



緑葉



花



実

Memo

咲く前の蕾の形は'金平糖'にそっくり。花が開くと小さな'お椀'の形に見える。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実		(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)											
紅 葉													
施 肥		■							■				
剪 定								■ (花後早めに)					
★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○ 湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

夏は半日陰になる環境が適地。根が浅いので踏み固めないよう気を付け、マルチング材などで覆い乾燥を防ぐとよい。酸性土壌を好むので、鹿沼土やピートモスで調整するとよい。

剪 定

花つきが良すぎるときは摘蕾(てきらい)したり、花後、花殻を取り除き負担を減らすと、翌年もよく花を咲かせる。お礼肥に固形油かすや緩効性化成肥料を与えるとよい。

病虫害

ハマキムシ、グンバイムシなどツツジ科共通の被害を受けることがある。風通しが悪いとカイガラムシが発生しやすくなるので混み合う枝を整理するとよい。